

# 広報 おおの



中日新聞社提供

大野うたとこ<sup>®</sup>

## 大野市誕生—昭和29年—

	ページ
大野市の半世紀アルバム…	2～ 6
小中学校再編計画を策定…	7
健康通信・暮らしのアドバイス…	8～ 9
市民のページ…	10～11
話題の広場…	12～13
お知らせ…	14～15

ホームページ <http://www.city.ono.fukui.jp/>  
Eメール [yamabiko@city.ono.fukui.jp](mailto:yamabiko@city.ono.fukui.jp)

平成16年(2004年)

# 7月号

No. 706

古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 大野市の

昭和29年に誕生した大野市は、今年7月1日で50歳になります。

伊勢湾台風や北美濃地震、三八豪雪や40・9風水害など幾多の災害を乗り越え、たくましく発展を続けた50年。

先人たちが残した、美しい自然や輝かしい伝統を受け継ぎ、さらなる飛躍へ向けた新たな一歩が始まります。

この記念すべき日を祝い、大野市50年の歩みを写真で振り返ってみましょう。

市制50周年



越美北線開通（昭和35年）

## 半世紀アルバム



市制施行記念パレード・三番通り（昭和29年）

### 大野市の歩み

昭和29年	7月2町6力村が合併して大野市誕生 8月初代市長に斎藤重雄さん
昭和30年	1月初の市議選で30人当選 9月消防本部・消防署・消防訓練所を設置
昭和31年	8月小池分校完成
昭和32年	5月下庄小学校に初の鉄筋校舎完成
昭和33年	4月市営農場事業開始 10月じん芥焼却場完成
昭和34年	1月選挙区（市議）条例廃止、1選挙区へ 9月伊勢湾台風襲来
昭和35年	4月富田・勝原中学校を統合して東部中学校（仮称）を創立 12月越美北線福井〜勝原間が開通／中保分校完成
昭和36年	4月東部中学校に下打波中学校を統合 7月北陸初の農業空中散布を実施 8月市内の電話が自動化／北美濃地震発生 9月荒島にテレビ中継局完成／第二室戸台風襲来
昭和37年	4月東部中学校と阪谷中学校が統合して尚徳中学校に改称／六呂師分校が独立 5月市役所新庁舎完成 9月し尿処理場完成
昭和38年	1月三八豪雪 3月小池・飯降分校廃止 5月奥越電源開発開始
昭和39年	4月越前田野駅開設 8月救急業務開始 11月打波川流域災害復旧工事を完了
昭和40年	4月大野工業高校開校 9月40・9風水害、台風23・24号で記録的な豪雨 12月農村集団電話開通
昭和41年	3月五条方分校廃止／大野市農協発足 6月市民会館完成 10月新町名を施行
昭和42年	8月全国高校相撲選手権大会開催 9月財政再建準用団体に指定



最深積雪306センチを記録した三八豪雪・五番通り（昭和38年）



越前大野城完成（昭和43年）



西谷村編入に伴う事務引き継ぎ（昭和45年）



五六豪雪（昭和56年）



真名川ダム完成（昭和52年）



40・9風水害（昭和40年）

昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和53年	昭和52年	昭和51年	昭和50年	昭和49年	昭和48年	昭和47年	昭和46年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	
1月五六豪雪、自衛隊が救援 福田一さん	7月宝慶寺いこいの森完成 10月皇太子ご夫妻来市 12月名誉市民第1号に 福田一さん	1月上水道試験供水開始 5月老人福祉センター完成	3月有終東小学校開校 4月清掃センター稼働 9月市民憲章制定	3月真名川発電所完成 10月真名川ダム完成 11月地下水保全条例制定	4月特別豪雪地帯に指定 11月有終会館完成	4月主要地方道大野・墨俣線が国道157号に昇格 11月市営バス白山線、国鉄バス市内線運行開始	8月京福電鉄大野〜勝山間廃線 4月主要地方道大野・墨俣線が国道157号に昇格 11月市営バス白山線、国鉄バス市内線運行開始	3月打波小学校廃止／財政再建完了 4月市土地開発公社設立 7月大野地区消防組合発足／奥越青少年の森完成 11月国の重要文化財「旧橋本家」復元	10月奥越合同庁舎完成 12月越美北線勝原〜朝日間開通	3月松丸分校廃止 5月奥越高原牧場開設 6月環境保全都市宣言 7月広域市町村県事務組合発足	2月大野市森林組合発足 3月庄林・阿難祖分校廃止 4月有終・小山・下庄・乾側中学校を廃止し、開成・陽明中学校を発足 5月奥越高原牧場開設	3月宝慶寺小学校・嵐分校廃止 7月西谷村を編入合併	3月若生子小学校廃止 8月上・下若生子廃村	3月北大野駅営業開始／中保分校廃止 8月越前大野城・郷土歴史館完成／第1回城まつり開催 10月福井国体開催 3月若生子小学校廃止 8月上・下若生子廃村



多田記念大野有終会館が完成（平成元年）



市制30周年記念カーニバル（昭和59年）

大野市の  
半世紀アルバム



古河市と姉妹都市盟約（平成2年）



麻那姫像除幕式（平成4年）



大野高校野球部が甲子園初出場（平成2年）

平成4年	平成3年	平成2年	平成元年	昭和63年	昭和62年	昭和61年	昭和60年	昭和59年	昭和58年	昭和57年
5月七間通りの石畳舗装完成 7月麻那姫像除幕式	3月大野く敦賀間が国道476号に昇格 総合体育施設完成	4月大野東高校野球部甲子園初出場 4月大野市と姉妹都市盟約に調印	12月有機溶剤で地下水汚染 2月大野有終会館完成 9月明治公園完成	5月シルバー人材センター発足 8月全国水環境シンポジウム開催	1月国鉄バス大野線廃止 4月休日急患診療所が土曜診療開始 5月大野マラソン改め越前大野名水マラソンに	3月勝原小学校廃止 6月こぶし通り開通／歴史民俗資料館・産業文化展示館完成	1月大野高校サッカー部全国大会初出場／御清水が「名水百選」に選定 3月大野高校定時制夜間部廃止 5月B&G海洋センター完成／図書館オープン	2月地下水低下で井戸枯れ多発 7月市制30周年を記念し、市の花・木・鳥を制定 10月三大朝市まつり開催 11月市内局番が2ケタに	2月市議会議員選挙初の無投票 3月木本・吉分校廃止／防雪基地管理棟完成 6月三石町・葛巻町・能生町・南淡町と友好市町の契り 9月職業訓練センター完成	3月健康管理センター完成 4月休日急患診療所オープン 7月ふるさと自然公園ミニ動物園開園



平成大野屋完成（平成11年）



平家平の自然林を取得（平成8年）



あっ宝んどオープン（平成12年）



公共下水道一部供用開始（平成15年）



本願清水イトヨの里オープン（平成13年）

平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年	平成5年
7月市制50周年記念式典 OPE大賞受賞	11月H 本堀兼線で乗合タクシー運行	10月木 前大野駅にやすらぎ空間完成	4月公共下水道一部供用開始/JR越前開館/亀山周辺整備基本計画策定	3月ミルク工房 越前開館/亀山周辺整備基本計画策定	1月平成大野屋事業などが地域づくり 総務大臣表彰受賞	3月ミルク工房 越前開館/亀山周辺整備基本計画策定	4月公共下水道一部供用開始/JR越前開館/亀山周辺整備基本計画策定	10月木 本堀兼線で乗合タクシー運行	11月H 本堀兼線で乗合タクシー運行	7月市制50周年記念式典 OPE大賞受賞	7月市制50周年記念式典 OPE大賞受賞

# ～思い出の50年 これからも～

大野市と同じ誕生日の皆さんに、これまでの思い出や、これからの大野市に期待することなどを語っていただきました。

- ① 印象に残る出来事
- ② 幼いころの思い出
- ③ 残していきたい大野市の魅力
- ④ 今後の大野市に期待すること

## 素朴な温かさ大切に



児玉政美さん  
西大月

- ①昭和43年の福井国体に、昭和天皇ご夫妻がおいでになりました。子どもからお年寄りまで大勢の人が沿道に並んで、日の丸の旗を振って出迎えたことが印象に残っています。
- ②家にテレビがなかったので、毎日のように近所のお菓子屋さんに通い、いろんな番組を見せてもらいました。中でも力道山のプロレス中継には、夢中になりましたね。
- ③大野の人が持つ素朴な温かさが何よりの宝だと思います。道ですれ違った人と自然にあいさつができるような、人と人とのつながりを大切にしていきたいですね。
- ④お年寄りが生きがいを持ち、安心して元気に暮らせるまちなになってほしいと思います。お年寄りを対象とした趣味の講座や、幅広い福祉サービスの充実を期待します。

## 忘れられない風水害



辻和子さん  
友江

- ①昭和40年の風水害は、今でも忘れることができません。朝から降り出した雨は強くなる一方。午後には清滝川の堤防が決壊し、家の中まで水が流れ込んできました。親類の家に避難したのですが、怖くてあまり眠れませんでした。
- ②普段は文房具しか買ってもらえなかったのですが、お祭りのときだけは、夜店でおもちゃを買ってもらえました。めったにないことだったので、余計にうれしかったですね。
- ③サクラや新緑、紅葉や雪景色など、四季折々の風景を楽しめるところが大好きです。この美しい自然を、いつまでも残していきたいです。
- ④美しい自然や歴史あるまちなみを、全国に向けてもっとPRしてほしいと思います。大野の魅力が、より多くの人に伝わると嬉しいです。

## 懐かしい川遊び



石丸清さん  
右次郎

- ①市制30周年の記念式典で、辻さん、児玉さんと一緒に市民憲章を読みました。しっかりと内容を読んだのは、この時が初めて。愛情が詰まった良い市民憲章だと思いました。
- ②赤根川で、魚釣りや水遊びをしたことが一番の思い出です。釣り道具がなかったので、サオもオモリもすべて手作り。遊びの中にも子どもなりの工夫がありましたね。
- ③何といっても大野の自慢は、きれいな地下水。名水百選に選ばれた御清水や、イトヨがすむ本願清水など、自然が与えてくれた貴重な財産をこれからも大切に守っていききたいと思います。
- ④若い人が地元で働けるよう、企業誘致に力を入れてほしいですね。元気な若い人が増えれば、まちも自然と活気づくと思います。

# 「市小中学校再編計画」を策定

～二十一世紀に羽ばたく児童・生徒を育てるために～

教育委員会が策定を進めてきた「小中学校再編計画」の内容がまとまりました。

昨年三月、教育関係者や学

識経験者で構成する学校教育審議会に対し「児童・生徒数の減少に伴う適正な学校教育のあり方」を諮問。同十二月に答申を受け、計画策定に向けて検討を重ねてきました。

## 現状や課題

### ○児童・生徒数の減少

市内の出生数を年次ごとに比べた場合、平成十五年の出生数は昭和六十年の約半分にまで落ち込んでいます。これに伴い、小中学校の児童・生徒数も減少を続け、学校に

よっては総児童数が十人を下回るなど、適正な学級編制が困難になってきています。

### ○集団活動の制約

小学五・六年生の期間は、中学校へ入学する準備として集団の中で切磋琢磨し、協力し合う方法を身に付けることが重要になります。しかし一学年が十人前後の学校では、さまざまな集団活動が制約され、十分に体験を積めないことが心配されます。

### ○教員の専門性

中学校の専門分野の教員を充実させるためには、三百人程度の生徒数が必要と考えられます。しかし小規模校では十分な教員の確保が難しく、やむを得ず専門外の教員が指導しているのが現状です。

### ○部活動の制限

中学校における部活動は、教科や道徳、特別活動と並び極めて重要な活動です。しかし生徒数の少ない学校

では、設置できる部活動の数に限界があり、子どもたちの多様な希望に十分に対応できているとはいえません。

## 「再編計画」の内容は

### 小学校

▽六呂師小学校を阪谷小学校に統合する（十七年度）

▽蕨生・森目小学校を富田小学校に統合する（十八年度）

▽小山小学校を有終南小学校の分校とし、小山小学校の

五・六年生は、有終南小学校に通学する（十九年度）

▽乾側小学校を有終西小学校の分校とし、乾側小学校の

五・六年生は有終西小学校に通学する（十九年度）

### 中学校

▽現在の四校体制を見直す

※中学校については、通学区の再編成や学校の統合などを視野に入れ、今後さらに検討を行います

### 問い合わせ先

教育委員会学校教育課（☎66・1111内線520）

## 総務企画・住民福祉 大野市の制度に統一

### ◆大野市・和泉村合併協議会◆

第十回・第十一回合併協議

会が、四月十四日に和泉村ふれあい会館で、五月十四日に有終会館で開かれました。

総務企画や住民福祉の事務事業について協議が行われ、提案通り承認されました。

### ●総務企画に関する事務

財産管理や指定金融機関、選挙や防災など、総務企画に関する事務事業を、原則として大野市の制度に統一する。

ただし和泉村が独自に取り組んでいる防犯灯の設置や維持管理、有線放送などは現行通り継続。合併時に統合する消防団も、分団数や団員数は現状を維持する。

### ●住民福祉に関する事務

福祉や保健、窓口業務などの住民福祉に関する事務事業を、原則として大野市の制度に統一する。住民福祉関連施設は、現行通り継続する。

ただし

○保健福祉の総合的な相談・指導業務は、当面、和泉支

所（仮称）でも行う

○保育所の保育料は、合併後三年間で段階的に統一する

○介護保険料は、平成十七年度から統一する

○社会福祉協議会に対して、合併後の数年間、安定運営のための経過措置として財政支援を行う

○市営・村営バスは現行通り運行。合併後に総合的な検討を行う

○和泉村の介護総合センターは、デイサービスの機能を継続し、在宅介護支援の機能は廃止する

### 市町村建設計画は継続協議

新市の将来像を示す市町村建設計画案が、第十一回協議会で提案されました。これまでも示されていた内容に、和泉地域の整備方針や合併から十年間の財政計画などを追加。今後十分な検討を行うため、継続協議となりました。

### 問い合わせ先

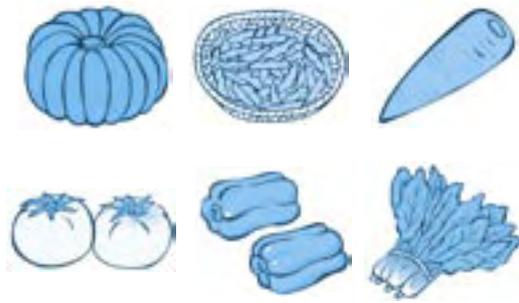
大野市・和泉村合併協議会（☎66・1600）

## 小規模校 児童・生徒数の推移

学校名	5年度	10年度	15年度	20年度
小山小	142	81	64	59
乾側小	64	50	56	48
阪谷小	168	128	86	60
六呂師小	32	20	9	6
蕨生小	82	81	56	29
森目小	50	37	25	18
上庄中	186	149	129	118
尚徳中	269	290	214	156



緑黄色野菜を食べよう



健康づくりへの関心が高まる中、ビタミンやミネラル、食物繊維など、体に役立つ栄養素をたっぷり含んだ緑黄色野菜が注目されています。あなたが食べている野菜の量は不足していませんか？

【健康おおの21】今月のキャッチフレーズ  
「もっと食べよさ」大野の野菜  
お肌、血管ピッチピチ

一日に必要な野菜

成人が一日に必要な野菜の量は三百五十g。そのうち百二十g以上を、ピーマンやニンジン、ホウレンソウなどの緑黄色野菜で取ることが望ましいとされています。

百二十gの目安は、トマト一個・ホウレンソウ一株・ピーマン二個・カボチャ十二分の一個を合わせた分量です。

野菜の健康パワー

緑黄色野菜には、各種ビタミンをはじめ、ポリフェノールや食物繊維など、さまざまな栄養素が含まれています。それぞれの栄養素には、次のような効用があります。

- ビタミンA**
- ▽視力の低下や疲れ目を防ぐ
  - ▽皮膚や粘膜を健康に保つ
  - ▽免疫力を高め、がんの発生を予防する
- ※カボチャ・ニンジン・コマツナ・ホウレンソウ・ピーマン・トマト・オクラ・ニラ・モロヘイヤなど

～ちょっと気になる健康料理～  
カボチャと糸コンブの煮物  
(エネルギー：71kcal 塩分：1.1g/1人前)  
カボチャには、ビタミンA・C・Eがたっぷり。健康づくりには欠かせない野菜です。

- ①カボチャは、わたと種を取り除き、皮を所々むいて一口大に切る。
- ②糸コンブはさっと洗い、ザルに上げて水を切り、8～10cmくらいの長さに切る。
- ③鍋にカボチャ・糸コンブ・水・調味料Aを入れて強火にかける。
- ④煮立ったら落しぶたをして、柔らかくなるまで弱火で煮る。

材料 (4人分)	しょうゆ…大さじ1と1/3
カボチャ…160g	砂糖…大さじ2
糸コンブ…8g	酒…大さじ2
水…160ml	

調味料A

メニュー考案：食生活改善推進員 (若葉会)

ビタミンC

- ▽皮膚や血管を強くする
  - ▽しみや小じわを防ぐ
  - ▽かぜや感染症を予防する
  - ▽発がん物質の生成を抑える
- ※パセリ・青ソウ・赤パプリカ・カボチャなど

食物繊維

- ▽腸内の有害物質を体の外へ排出する
  - ▽コレステロールを下げる
  - ▽糖尿病を予防する
- ※カボチャ・モロヘイヤなど

健康は食事から

最近、特定の栄養素を錠剤やカプセルにした「サプリメント」を利用する人が増えています。しかしサプリメントでは、天然の素材に含まれる多様な栄養素や、それぞれの栄養素の相互作用までを補うことはできません。

健康の基本は食事から。まずはバランスの良い食生活を心掛けましょう。

旬の味覚をどうぞ

緑黄色野菜は、栄養豊富で彩りも鮮やか。大野で育った旬の野菜で、毎日の食卓をカラフルに飾りましょう。

皆さんの健康づくりを後押しします。保健センター (☎65・7333)

## 健康食品トラブルに注意



最近の健康ブームにより、〇〇エキスやダイエット飲料といった、いわゆる健康食品が話題を集めています。それに伴い、健康食品にまつわるトラブルが発生しています。正しい知識を身につけ、被害に遭わないよう注意しましょう。

### 健康食品とは

健康食品には、法律上の明確な定義がありません。そのため、業者が「健康に良い」と考えるものは、すべて健康食品として販売されているのが現状です。

中には、消費者の関心に付け込んだ誇大広告や、高額な商品を多量に売りつける悪質な販売も見受けられます。健康食品を購入するときは過大な期待をかけず、本当に必要かどうかを、冷静になって考えることが大切です。

### 医薬品との違い

医薬品とは病気の治療や予防を目的とするもので、その安全性や有効性について、国の承認を受けています。

一方、健康食品は、栄養補給や健康の維持を目的とするもので、医薬品のような効果や効能を表示することは、法律で禁止されています。また医薬品にしか使えない

成分が入っている製品や、医薬品に見えるような包装も法律に違反しています。

### 悪質業者に注意！

「飲むだけでやせられる」「がんや糖尿病が治る」「動脈硬化を防ぐ」などと、本来認められていない効果や効能をうたって商品を販売する悪質業者が増えています。

健康に不安を持っているお年寄りなどが、特にねらわれやすい傾向にあります。気を付けましょう。

### 【悪質業者の特徴】

- ▽病気の治療・予防効果をアピールする
- ▽「これを飲まないで病気になる」などと不安をあおる
- ▽天然を強調し、成分を明らかにしない
- ▽科学的な根拠を示さず、体験談を中心に説明する
- ▽目の前で手品のような実験をして、商品の効果をアピールする
- ▽極端に多い量を摂取するよう勧める
- ▽契約を急ぐ
- ▽解約の説明がない

### 主な相談事例

- 体調が悪くなった

電話で健康状態を聞かれ、高血圧と便秘に悩んでいると答えたところ「〇〇エキスを飲むといい。病院の薬はいらなくなる。責任を持って治すから」と強引に購入を勧められた。病気が良くなればと思い、二三日飲んでみたが、かえって体調が悪くなった。

### ● 高額な商品を買わされた

日用品を無料でもらえると聞き、友達と一緒に会場に出かけた。いろいろな商品をもたらしているうちに、健康食品の話になり「一年飲めば十年は健康を保証する。来年からは三倍以上の値段になる」と言われて、つい二百万円を支払ってしまった。後から冷静に考えたら、まったく必要のないものだった。

### 困ったときは

契約のトラブルなどで困ったときは、消費者相談センターへ相談ください。訪問販売で商品を購入した場合など、八日以内であれば、クーリングオフ制度を使って契約を解約できることがあります。

また健康食品により体の具合が悪くなったときは、直ちに使用をやめ、医療機関で受診してください。

消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ ☎66・1111 内線 464 (市役所生活環境課)

# アドバイス

# 暮らしの

# ぐるーぷ登場

## フレッシュミズの会 「くるる」

「くるる」は、農業の後継者づくりや同世代のふれあいなどを目的として、JAテラル越前女性部の若手メンバーを中心に、昨年二月に結成されました。会の名称は、響きがよく、気軽に来てほしいとの思いから名付けたそうです。

現在、会員は約六十人。もともとJAが一般に貸し出していた農園の一部を、くるるの農園として活用し、農作業の体験を行っています。

イベントは、会員のほとんどが子育て世代ということもあり、親子で参加できるものを企画。五月に行ったサツマイモの苗植えには、約二十人の親子が参加し、和気あいあいと作業をしたそうです。

「農業で、自分たちの考えを何か形にしたり、次の世代の人づくりができれば」と考え

て、食へる”ことをしない人はいません。しかし、自分で作ったものを自分で食べる人は少なくなってきています。この活動を通し、子どもたちに地産地消のすばらしさを体験してほしい。その中から将来、一人でも多くの子どもたちが、農業をしたいと思ってもらえるとうれしいですね」と会長の山口真由美さん。

秋には、今回植えたサツマイモの収穫祭とリース作りを予定しているそうです。

くるるでは、四十五歳ぐらゐまでの女性メンバーを随時募集しています。普段、農業をしていない人も大歓迎



### 後継者づくり親子で農業体験

結成しました。だれ一人として、食へる”ことをしない人はいません。しかし、自分で作ったものを自分で食べる人は少なくなってきています。この活動を通し、子どもたちに地産地消のすばらしさを体験してほしい。その中から将来、一人でも多くの子どもたちが、農業をしたいと思ってもらえるとうれしいですね」と会長の山口真由美さん。

です。親子で農業を体験したり、仲間と子育てについて話し合ったりしませんか。

興味がある人は、事務局のJAテラル越前生活福祉課（☎65・8893）またはJA各支所窓口まで。

# 市民のページ



## 今月のスナップ



ウシさん、こっち来てよ！  
(六呂師高原)

■「広報おおの」では、皆さんの活動や意見など、さまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。

〒912-8666大野市天神町1-1  
市役所情報広報課広報広聴係  
(☎66・1111 内線441)  
yamabiko@city.ono.fukui.jp

## 補助制度あれこれ



その2

### 合併処理浄化槽設置整備

合併処理浄化槽を設置する費用の一部を補助します。

この事業は、国や県の補助を受けて行つため、予算の範囲内となります。希望者が多数の場合、希望に沿えないこともあります。

本年度分は、今のところ補助

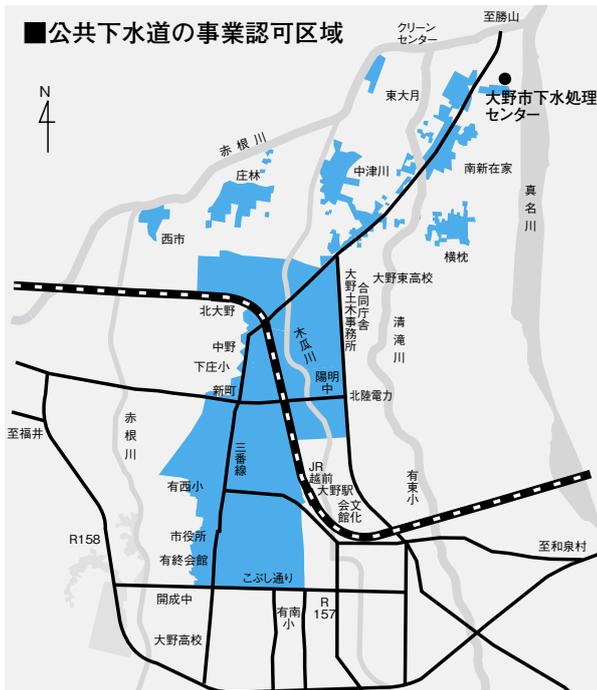
助金の枠に多少余裕がありませんので、希望する人は、対象地域かどうかを確認して、早めに連絡してください。

次の浄化槽は補助の対象となりません。

- ▽公共下水道の事業認可区域に設置する浄化槽（左図）
- ▽農業集落排水事業の実施区域内と認可済み区域内に設置する浄化槽
- ▽五十一人槽以上の浄化槽
- ▽すでに設置してある浄化槽（付け替えは対象です）

※補助の限度額など、詳しい内容については、問い合わせください

問い合わせ先 下水道課管理普及係（☎66・1111 内線2995）





ナスやピーマン、トマトなどの夏野菜が本番を迎え、ウリやカボチャも出始めます。カボチャは、じっくり煮て、皮ごと食べれば栄養満点。てんぷらにしてもおいしいですよ。



枝豆もお目見え。ピールのつまみにいかがでしょう。ぜひお越しください。問い合わせ先 朝市出荷組合 (☎69・9520:月~金、午前中)

# こんにちは

五井美紀さんは昨年、県内初となる日本茶インストラクターの認定を受けました。日本茶インストラクターとは、日本茶のすべてにわたる知識や技術を伝える中級指導者として、日本茶業中央会が平成十一年から実施している「日本茶インストラクター認定試験」に合格した人のこと



## 県内初の日本茶インストラクター 五井美紀さん(39歳・吉)

五井さんは以前、紅茶の勉強をしていて、紅茶や日本茶など、お茶全般に触れていく中で「おいしい日本茶を飲んだときに感じる独特の、ほっとする瞬間。この感覚をいつでもどこでも味わいたいです。思うようになりませんでした。そのため日本茶のことを知り、おいしくいれる方法を習得したい」と次第に日本茶に興味を持つていったそうです。現在は家業の合間をみて、お茶教室の講師をしているそうです。お茶をいれるポイントを聞いたところ「茶葉に含まれる成分は、大きく分けてカテキンとテアニンの二つあります。カテキンは、高い温度ほど溶け出やすい苦味の成分です。テアニンは、甘味の成分で、低い温度でも時間をかけて少しずつ溶け出します。両方の成分が茶葉から溶け出る時間を考えてお茶をいれてほしい。自分好みの味を見つけてるのも楽しいですよ」と教えてくれました。「外国の人と以前、お茶の話で盛り上がりました。そのくらいお茶は、世界のほとんどで飲まれている身近な飲み物です。日本でもお茶を飲む人がもっと増えてほしい。また、きゅうすでお茶を飲んだことのない子どもたちに、お茶の魅力を伝えたい。今、勉強中なんです」と笑顔で意気込みを語ってくれました。

## 読書のススメ

入院ベッドで描いた『邦ちゃんの糖尿病食絵日記』 多田 邦夫著 新風舎刊



糖尿病と肝臓病で入院していた著者が、その時に与えられた食事を絵でまとめた本です。糖尿病は毎日の食事管理が大変。入院中に与えられた食事を奥さんに作ってもらおうと再現。イラストで朝・昼・夕の献立をスケッチし、食材の分量を細かく書き加えました。BS(血糖値)の変化もメモしてあり、食事の効果がうかがえます。糖尿病の人にはもちろん、健康が気になり始めた人にも参考になる1冊です。

# みんなの図書館

### 新着図書

#### 【ライクシオン】

幽霊人命救助隊(高野和明) 大久保彦左衛門(津本陽) 悪の条件(森村誠一) 影に潜む(ロバート・B・パーカー)

#### 【ファンフィクション】

国境を越えた医師(トレーシー・キター) 金持ち父さんの予言(ロバート・キヨサキ) 現代仕事人列伝(飯田辰彦) 旅のヒント(五木寛之)

#### 【児童図書】

虹を下から見上げたら(山口理) 橋の下の怪物(ジョン・

#### 【絵本】

へんしんでんしゃデンデコデー(みやもとただお) 風の星(新宮晋) くまのたまご(イングリット、ディーター・シューベルト) がんばれじゃがいも(トビー・スピード) むしのたのしみ(リラ・ブラップ)

その他、四百二十四冊入りました。

## 平家平で作業体験

森林の保護や保全、自然観察の場などとして活用を進めている平家平で「作業体験プログラム」が始まりました。1回目の6月5日には約30人が参加し、里道の整備やオウレン畑の手入れなどを体験。7月と8月にも同様の作業体験が行われます。



## ハナショウブ5000株

毎年恒例のあやめまつりが、6月12日から13日にかけて菖蒲池区で開かれました。会場では、歌謡ショーや風船飛ばしなどが行われ、色とりどりのハナショウブやアヤメが、訪れた人たちの目を楽しませていました。

## 「水辺の楽校」<sup>がっこう</sup>管理運営団体を設立

真名川河川敷を魅力ある水辺に復元することを目的とした「水辺の楽校プロジェクト」。その計画に基づき管理運営を行う団体「ビオフレンズ」の設立総会が5月28日、有終会館で開かれました。今後、水環境を向上させる活動への協力なども行っていきます。



## 昔ながらの田植えを体験

阪谷、蕨生の小学生による田植え体験が行われました。子どもたちは、泥んこになりながら、苗を一生懸命植えていきました。



蕨っ子田植え（5月25日）



阪谷っ子田植え（5月22日）

# 話題の広場

# 話題の広場



5月23日に行われた名水マラソン。大南敬美<sup>たかみ</sup>さんをゲストランナーとして招待し、市内外から2135人が参加しました。22、23日には、NHKテレビ・ラジオの体操指導者による講習会や準備体操も行われました。

## 越前大野名水マラソン



### たいまつ<sup>たいまつ</sup>の灯 山道照らす

6月5日、登山愛好家グループの大野親岳会と市体育協会山岳部が中心となり「飯降山たいまつ登山」が行われました。参加した75人は、大野の夜景を眺めながら、ゆっくりと山を下っていきました。

### 番頭15人で企画運営

全国の大野さんを支店主として活動する平成大野屋事業。その企画や運営などに携わる番頭の委嘱式が5月17日、平蔵で行われました。今回新たに8人が加入。再任2人と昨年委嘱された5人で、新たな活動を繰り広げていきます。



身近な話題をお知らせください。

# お知らせ 7月



## 参議院議員選挙

投票日は7月11日

選挙管理委員会

7月11日(日)は第20回参議院議員通常選挙の投票日です。忘れずに投票しましょう。

今回の選挙から「不在者投票」が「期日前投票」になりました。手続きの一部が簡素化され、選挙人本人が投票用紙を直接、投票箱に入れる方式になりました。

期日前投票は、7月10日(土)までの毎日、午前8時30分から午後8時まで市役所別館第2会議室で行っています。

問い合わせ先 選挙管理委員会  
(☎66・1111内線361)

## 市営住宅の入居者募集

都市整備課

募集団地 西里団地

規格 3K風呂無・トイレ有

募集戸数 1戸

資格 一定の収入基準以内で住宅に困っている人

家賃 月額6600円～1万9000円

申込締切日 7月23日(金)

申し込み・問い合わせ先

都市整備課住宅緑地係(☎66・1111内線354)

## 古紙回収や

太陽光発電に補助

生活環境課

### ●古紙回収団体補助

ごみ減量に向け、資源ごみの回収を行っている団体に対し補助金の交付を行います。対象 市民で構成している、営利を目的としない団体

品目 新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙類

補助金額 8円(古紙類1㎡当たり)

※この中から回収業者に、3～4円の引き取り料を払う必要があります

その他 資源ごみの回収を行う団体は、毎年登録が必要

### ●太陽光発電などの住宅設備

地球温暖化ガスの削減や環境への負荷軽減につながる、環境に配慮した住宅設備の工事費用に補助を行います。

#### 対象設備と補助件数

- ①太陽光発電設備(3件)
- ②屋根融雪・雨水再利用設備(1件)

※応募多数の場合は抽選

補助金額 各工事費用の3分の1以内(ただし①は、新エネルギー財団の補助金額分を減額した金額)

補助上限額 各60万円

※補助の対象となるには、一定の要件を満たす必要があります

申込締切日 7月30日(金)

問い合わせ先 生活環境課環境保全係(☎66・1111内線463)

## 利用ください

自然こども館

福祉課

親子の交流、子育てサークル活動などの場として「大野市自然こども館」がオープンしました。

場所 旧六呂師保育園

利用要件 小学生以下の子どもに大人同伴で利用

利用施設 プレイルーム・調理室・多目的ホール

## 介護相談員を募集します

介護保険施設などを定期的に訪問し、サービス利用者の日常的な不満や苦情、意見などを聞く介護相談員を募集します。

募集人員 1人

応募資格 次の①～③すべてに該当する人

- ①市内に住む社会人で、普通自動車免許を持っている人
- ②介護保険制度に関心があり、月2～3回程度、昼間に介護保険施設を訪問できる人
- ③3泊4日程度の県外研修に参加できる人

任期 2年

応募方法 「高齢者の福祉について思うこと」を400字程度にまとめ、住所、氏名、電話番号を明記し提出(郵送可)

申込締切日 7月20日(金)必着

申し込み・問い合わせ先

〒912-8666 大野市天神町1-1

市役所福祉課高齢福祉係(☎66・1111内線482)

利用時間 午前8時30分～午後5時(月曜日は休館)

利用料 200円～800円

※利用施設 利用時間により異なります

申込方法 利用日の14日前までに福祉課に申請書を提出

申し込み・問い合わせ先 福祉課児童福祉係(☎66・1111内線475)

## おどろ指導員派遣・ボランティアの募集

城まつり実行委員会

越前おおのおどろの練習を行うグループなどに、指導員

の派遣や、おどろの力セットを無料で配布します。

また、おどろ会場うちわの配布やおどろの誘導を行うボランティアも募集します。

指導員派遣期間 7月1日(土)～8月10日(金)

派遣先 職場や町内会などボランティア実施日時 8月15日(土)・16日(日) 午後7時30分～9時30分(両日とも)

※1日でも可

申し込み・問い合わせ先

おおの城まつり実行委員会事務局(大野商工会議所内)

☎66・1230( )

夏休み

越美北線「ふれあい市民号」

～親子で出かける日帰り大阪USJ～

日時 8月21日㊥  
 午前5時50分にJR越前大野駅集合  
 行き先 ユニバーサルスタジオジャパン (USJ)  
 対象 市内在住の小学生以上の親子  
 定員 80人(先着)  
 参加料 小学生5500円  
 中学生以上12000円  
 申込開始日 7月12日㊥  
 その他 親子で参加が原則  
 ※USJ1日入場券付き



申し込み・問い合わせ先  
 生活環境課市民生活係 (☎66・1111内線463)  
 またはJR越前大野駅 (☎66・3350)

ネイルアート教室

参加者募集

勤労青少年ホーム

日時 7月22日㊥・29日㊥午  
 後7時30分～  
 場所 勤労青少年ホーム  
 参加料 10000円  
 準備物 マニキュア・コットン・除光液・ボウル(手のつかる大きさ)  
 定員 15人  
 申込締切日 7月15日㊥  
 申し込み・問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)

国民年金の保険料納付免除について

市民課

国民年金は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付することになっています。しかし経済的な理由でどうしても保険料を納められなくなることも考えられます。この場合、申請し承認を受けると、保険料の納付が免除されます。問い合わせ先 市民課国保年金係(☎66・1111内線455)

危険です！農業用排水路

林野耕地課

4月以降、農業用排水路での死亡事故が、3件発生しています。長雨の時などは、水かさが増え非常に危険です。水路の近くでは、子どもを遊ばせないよう注意してください。問い合わせ先 林野耕地課整備係(☎66・1111内線321)

サマー企業説明会

おくえつ雇用開発協議会

来春卒業予定の大学生や専門学校生対象の就職面接会、高校生やその保護者を対象とした企業説明会を行います。求職中の人も参加できます。日時 7月11日㊥午前10時～正午  
 場所 JAテラル越前本所  
 問い合わせ先 ハローワーク大野(☎66・2408)



おおのネイチャーフィールド2004

六呂師高原

7月18日㊥・19日㊥

家族で過ごす週末自然学校

内容 森の中を家族で探検したり、夜の森を体験  
 対象 小中学生の子どもがいる家族  
 定員 15家族程度(先着)  
 参加料 1人8000円(3歳未満1500円)  
 宿泊 六呂師ハイランドホテル(1家族1部屋)  
 申込方法 電話で申し込みを行い、後日書類を送付  
 申込締切日 7月9日㊥  
 申し込み・問い合わせ先 六呂師ハイランドホテル(☎67・1301)

麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)

7月24日㊥・25日㊥

熱気球フライト(両日とも)

時間 午前10時～  
 参加料 無料  
 参加方法 当日午前9時から会場にて受け付け  
 ※応募多数の場合は抽選

魚つかみ捕りと料理教室(両日とも)

対象 子ども  
 時間 午前9時30分～  
 回数 6回  
 定員 1回50人  
 参加料 5000円  
 参加方法 当日会場にて  
 その他 10人以上での参加は、事前に問い合わせ

週末自然教室

▽ネイチャークラフト教室(両日とも)

時間 午前10時30分～  
 参加料 5000円  
 参加方法 当日会場にて

森の音楽会(24日㊥のみ)

演奏 大野市民吹奏楽団  
 時間 午後7時30分～  
 参加料 無料

▽ストーン教室(19日㊥のみ)

時間 午前10時30分～  
 参加料 5000円  
 参加方法 当日会場にて

※そのほか、工作教室など、当日参加イベントを予定  
 問い合わせ先 商工観光課 光係(☎66・1111内線3355)

## 市民のうごき

	6月1日現在	前月比	
世帯数	11,968世帯	+4世帯	
人口	39,591人	-35人	
内訳	男	18,905人	-12人
	女	20,686人	-23人
6月中の異動	転入	57人	出生 23人
	転出	67人	死亡 48人

## 市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成16年 5月末	平成15年 5月末	比較
総件数	293件	278件	+15件
人身事故	69件	53件	+16件
死者	1人	1人	0人
傷者	76人	87人	-11人
物損事故	224件	225件	-1件



正津屋酒店(日吉町三二一六)  
横町通りと中央通りの角に位置しており、明治三十二年の大火以前に建てられたとされています。厚さ十センチ以上もある板葺の下屋庇が特徴的です。

## 景観特選おのの ⑬

市が認定した、将来に残していきたいと思う、大野らしい建築物や自然などの景観を紹介します。



善導寺(錦町四一十二)  
石灯籠通りから寺町通りに向かって、正面に位置しています。一五五八年に草創され、一六八二年には初代大野藩主、土井利房の菩提寺となりました。

### 大野のうごき ⑳

昭和二十九年、誕生当時の大野市です。越前大野城は再建前、越美北線も開通していませんでした。人口は約四万三千人。半数以上の世帯が農業を営んでいました。自家用車はまだ珍しく、電車やバス、乗り合い馬車などが、人々の足として活躍していました。

### 編集後記

広報を担当して三ヶ月。趣味などを生かして活動する、グループや人を取材するたびに、その人たちの思いや考えに感心させられます。自分も、夢中になれる趣味を持ちたいと思うのですが…。皆さんの活動に対する熱い思い、どしどし聞かせてください(林)



大野市は今年で五十歳。同じような年代の私は、大野市とともに人生を歩んできた▼古いアルバムを開くと、そこには

父と歩くまだ舗装されていない花山峠、母と勝山行きの電車を待つ京福大野駅、七間通りにあった旧大野郵便局、屋根まで積もった雪を一生懸命雪かきする三八豪雪など、幼ないころの私とともに昔のさまざまな情景が残っている。それぞれと忘れていた思いがよみがえる▼当時は国鉄であった勝原〜福井間が開通し、汽車に乗って福井に出掛けられることを喜んだ。図書館や休日急患診療所など、新しい施設が整備されていく驚きがあった。しかし、思い出深い映画館が次々と廃業し、とうとう市内になくなってしまった時は寂しい思いがした▼昔からそのままの姿を残している大野らしい建築物や自然に、うれしさを感じる。都会をうらやむ子どもたちに「大野には都会とは比べられない良さがある。お米も水もおいしいし、旬のものが多くあって自然豊かな所だよ」と言い聞かせる▼そんな大野市だが、二十年後には市民のほぼ三人に一人が六十五歳以上になると予測されている。高齢化が進む中、活力ある住みよいまちづくりが求められている▼地元を離れている人たちが思い描く、懐かしいふるさとを大切にしていきたい。今日はあつ宝んどの言蒲湯につかり、のんびりした気分になった(小)